

發行所 川崎文治

印刷所 川崎文治

本報下同番地(電話六三〇番) 印刷所 電話六三〇番

定部金 五錢
 一月 五錢
 三月 十五錢
 半年 三十錢
 一年 六十錢

廣告料 五錢一行
 五字一語一行
 五十字一語一行

休日 日曜大祭
 日曜 日曜大祭
 日曜 日曜大祭

福島縣 川崎町 長橋町 三丁目 電話六三〇番

川崎文治

常設 電話六三〇番

刊夕日八月三

余釀造元

酒鶴仙

石城郡平窪村

松吉屋本店

電話一四一番

京都産出瓦斯販賣 有聲座隣

柏屋

の石流最

ニスモ

賣廉大

目ヲ二平

迅速 貸切自動車

番七十四話電

部車動自澤芹

忠正澤芹主

勉強

女中高給ニテ募集 但シ十七歳以上

平町南町

校舎増築 産婆看護婦 生徒募集

一、入學資格 小學卒業程度

一、修業年限 兩科通じて二ヶ年

一、入學申込 三月末日迄(寄宿ノ便アリ)

海岸線平町南町

平産婆看護婦學校

電話三〇七

私立平陽實科女學校生徒募集

募集人員 高等女學部 一年 約五十名
 二年(補欠) 若干名
 師範部 約五十名
 技藝部 高等科 一年 約百名
 全速成科 五十名

願書提出 (左記書式ノ入學願書履歷書ニ調印ヲナシ入學式 四月二日午前十時入學式舉行ス)

集募徒生

左ノ事項ニヨリ本科生百五十名、普通科第一學年生百五十名ヲ募集ス

一、願書提出期限 三月卅一日限

一、試驗期日 四月一日午前九時ヨリ

一、試驗ノ科目 國語及算術

一、試驗ノ程度 高等小學校卒業

一、試驗ノ要具 筆答ニ要スル鉛筆小刀等

一、成績發表 四月四日午前十二時

城山磐城佑賢學舎

御進物に

節鯉の

電話

崎山屋塩

野崎君に呈す (四) 川崎文治

更らに足下に云ふ、足下は「或る議員は飯坂温泉に清遊を試みたとの事に付き町費の濫費不當の支出なるは明らかだ」といふ、ペラボソな議論もあるもの哉。成程足下の云ふが如く實際議員の中には飯坂に宿泊せる人もあるかも知れぬ、然れ共、夫れは議員の都合に依る事であつて、爲すべき手筈に誤らない以上、宿泊の場所を何れに求むと雖もそは其議員の自由意志に委せて可なるべく、他人が徒らに是れを付度し拘束すべき筋合のものではない、のみならず足下も認めた通り「夫れが規定通りの支給額」であつて見れば、露いさ、かも町費の濫費ではない、何を苦こんでか足下は斯の如き明らかな事實を目して不當呼ばはりを爲す、是れ即ち足下は自己の心情を以つて他人を律せんとし一種の夢妄想的錯覺に禍された偏見より出發する爲めに非らざるなきやを憂ふるものである。

次に余の所論を進むる順序として、「町長特別費用

辯償」の費目が一体如何なる性質を帯びたるものなるやに關し一言したい、即ち同費目は一言に依つて盡さば、町長の交際費であり或る意味に於ける町長の機密費と見る事も出来る然らば是れは町長の自由裁量に依つて支出の當不當を決せらるべきであつて、町長を信じて計上した豫算の範圍内に於て消費せらるる場合に當り他人が殊更らに容喙を差し挟むの要全くなく、従つて同費目に對し冤や角と物議の狙上へのほすべきでない事は、全國を通じての不文律となつて居る(つゞく)

うごん。そば

うなぎ。天井

親子丼五もく

二町長橋町

まっや

親戚 蓮沼倉次郎 蓮沼龍輔 横澤徳助 鈴木辰三郎

友人 代理人 鈴木辰三郎

福島縣平町

荆妻さよ子儀永々病氣中の處療養相不叶八日午前一時三十分死去致し候乍略儀以紙上生前辱知諸賢に謹告候也

追て葬儀は九日午後四時平火葬場に於て茶毘に附し途中葬列を廢し十一日午後一時より二時迄平町長橋町性源寺に於て佛式により告別式相営み候

三月八日

福島縣平町

うまい安い

御茶菓子

ビスケット 百匁 一十錢

東洋パン 百匁 二十錢

ヤトモツマ

番四一二電

呉服類は總べて

の商標を御信用願ひます

安く良くはの標語です

必らず御満足して戴ける確信です

最近の當店へぜひお運びを願ひます!

中野吳服店

平町三丁目(電話六七番)

本社の大懸賞に就いて

本社主催の大懸賞、有聲座連續上場中の「ライオンマン」に活躍せる假面の怪人に關する解答は豫想外の巨數に達し目下整理中であるが當選者の抽籤は本月中旬頃執行すべく其日時及び方法等は追つて發表する

梅は見頃

朝晩はまだ薄ら寒い風が吹くが日中はポカポカとした陽が流れて、長い間重苦しい冬に閉ざされてゐた平地地方にも春が訪れそめた、梅は目下見頃で聲を放つてゐる抑の小枝も色づいて来た、七日の日曜日風もなくあたたかな日だったので浅い春をたづねる人々が松ヶ岡公園に散見された

蓮沼夫人の遺徳を悼む

平町同業警城新聞社副社長蓮沼龍輔氏令聞きよ子夫人は永らく病氣中の處八日前一時半逝去した葬儀は九日午後四時半茶屋に附し途中行列を廢して十一日午後一時より性源寺に於て佛式を以て告別式を執行する

堤を公園に

石城郡赤井村大字西小川に於ては同村地内の裸山に苗木十二萬本を植林する由

裸山に植林

石城郡赤井村大字西小川に於ては同村地内の裸山に苗木十二萬本を植林する由

同業組合組織

石城郡南地方のこんにやく栽培は古い歴史と生産の多きをもつて全國に誇り植田町の盛衰はこれによるところ多いが最近岡山、群馬地方の産額ようやく擡頭し逐年石城こんにやくが東京地方に壓倒される傾きあり、このまゝに推移するときは石城こんにやくは全く行きつまりの外なき状態にあるので、各當業者等は金成通その他有力者の後援を得て同業組合を組織し共同利益の目的に出づることとなり、近く植田町に發會式を舉ることとなつた

各區長の盡力で

夜櫻に電燈輝く 募集其他を區長に委して 廣告燈が復活した

毎年櫻花期には電氣會社の廣告燈が松ヶ岡公園や新川端の夜櫻を鮮やかな色に染め出して見物の人々の足を引く非常な賑ひを描きだすのであつたが

本年は 郡電から東部電に鞍替へした平營業所の都合に依ると云ふので(實は募集難に手を焼いた結果)是れを中止する事になつた爲め夫れでは此不景氣に一層人の出鼻がくちかると平町の各區長が躍起となり六日午後一時から大

び村會議員二名が小名濱小學校視察に赴くと

赤井消防協議 石城郡赤井村にては九日同村役場に消防幹部會を開き管内組頭會議に於ける決果報告の件、警察會廢止に關し會費處分の件、大字鹽田道路改修應援に關する件を協議する

小川學校視察 石城郡小川小學校第二校建設に關し來る十五日國井村長及

武川氏小康 一時重態を傳へられた平商業學校々長武川教義氏は其後幾分快方に向つたらしく二三日來食欲が増進して小康を得た

各區長の盡力で 夜櫻に電燈輝く 募集其他を區長に委して 廣告燈が復活した

村屋旅館にて相談會を開いた結果一應會社側に當つて當方の 意のある所を大いに披瀝して見やうと直ちに左記の區長達が

植頭鶴松、神谷亥彦、柳下元吉、石山治三郎、國府田直良、山崎幸之助、山田忠太郎、齊藤寅吉、草野源三郎、宮崎善太郎、松崎房次郎、草野廣吉、佐藤久吾、

東部電の平營業所に武田所長を訪ね種々折衝を重ねた結果夫れでは計畫を立て、見やうと云ふ事に纏り昨日

た時、ころんで筋骨を痛めました、そこで農夫は持ち合せの手拭に水を含めて胸にあてたところ、見る／＼うちに痛みは治つてしまひました。この面白い評判が四方八方にひろがつてある時、法主が篤い病に犯された時、農夫は自分の經驗をたす／＼めしました。法

主はすつかりなほりましたそれ以來、この不思議な療法はクリスニツク療法といつて天晴にもその農夫の名まで冠され、遂に今日のアンチフロドスチン濕布療法にまで進んだのであります。こうした事を知つて置く事も家庭的な一つの常識として面白いではありませんか

平町の 棟は土出工事が未だ充分でない所より同町消防組が出勤して同工事に従事する事になつた

自強術懇談 仲々の賑ひ

既報平町自強術會は六日午後七時より藤田裁縫女學校に於て懇談會を開き先づ會長山崎清三氏の開會の辭あつて田卷榮一氏が庶務及び會計の報告を述べ次に藤田榮助氏の福島自強術道場の視察談あり續いて本社川崎が所感述べて一同に茶葉を出し詠曲や長唄の余興あり最後に希望者の自強術操練があつた

常磐片々

今年の夜櫻に廣告燈は廢止すると思はせ振りにヒネクレた東部電の武田君、條件付にて區長に一任

今度は武田君寢て居て電力が賣れるの段取り、凄じ事片々子は最初からさもありなんと呪んで居た

故に此際武田君に一言す、餘り見ね過ぎた策を弄す事度かさなれば結局君は自分の描いた策の爲めに倒れるぞと

早春の帯側片

春向きの片側帯は昨年邊りの流行りとして織り片側では濛い唐織風の物やそれに類似の絞織等が流行の中心となつてゐたが今年の時代趣味として聚樂織や或は唐織の變化した物等が復活されてそれに天平時代や

徳川中期の模様又は蒔繪からヒントを得た模様を現代式に應用されてゐる、それも行き方として昔の物を其儘扱つた物或は現代の物を昔風に組立てた物と兩様の好みを見せてゐる



家庭欄

濕布療法の起り 濕布療法の起つたのは、今から百五十年前程前オーストリアの農夫が畑で働いてゐ

歓迎されない處から織と染折衷した物が出来てゐる例へば

塩瀬錦等 それであるが之は唐織風の生地を地に絞りを織出しそれに適應する様な模様を現代風の色調で現したものである。要するに今年の片側帯は全般に亘つて明るい色調で組織には充分工夫が凝されて居り地質や模様に着しい

變化を見 せてゐるからあつた、かい春の日に婦人の姿を一入引立て、美しいものとするであらう

湯本學校土盛 石城郡湯本町小學校の新校舎二